一粒丸三橋薬局

一粒丸三橋は、300種類を超える日本の伝統的な生薬をつくる製薬会社である。創業は1688年-1704年の間と言われている。社名の元になった道中薬「はらのくすり成田山一粒丸(Ichiryugan on-the-road stomach medicine)」は、成田山新勝寺へ詣る人々に、300年以上にわたって販売されてきた。黒塗りされたしっくい作りの2階建ての建物は、明治時代(1868年-1912年)に建てられたもので、日本の有形文化財に指定されている。